

令和6年度自己点検・評価報告書

学校法人臼井学園
北陸ビジネス福祉専門学校

1. 学校の教育目標

ビジネス社会及び医療・福祉・介護に役立つ専門的知識と技術を授け、豊かな教養を培うとともに、創造性に富む人間形成をはかり、良識あるビジネススペシャリストや介護福祉士及び福祉社会に役立つ人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り込むことが必要な目標や計画

＊令和6年度事業計画に基づき、健全な学校運営、教育活動および個性の輝く学生支援のために、次の項目について、点検・評価項目の見直し等を行い、関係部署（各学科・各委員会・学園総務課）との連携を強化する。また、定期的に計画（P）・実行（D）・点検（C）・分析改善（A）を行う。

- ・教育環境（施設設備）の整備について
- ・養成施設等の自己点検・評価について
- ・教職員の資質向上について
- ・学生による学校評価調査について
- ・個人情報管理の徹底について
- ・情報公開について
- ・学校関係者評価の実施について

3. 点検項目の達成及び取り組み状況

・点検・評価期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日に各項目の点検を行い、評価を実施した。

・評価項目：

- (1)教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務
(9)法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流

・評価基準（4段階評価）

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

（1）教育理念・目標

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	学則に明記 ホームページに掲載
2	学校における職業教育の特色は何か	4	各学科で人間愛豊かな専門職の育成 学校案内、ホームページに掲載
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	学科単位での取り組みは積極的に行われている 学校全体としてニーズを踏まえた教育をする工夫、構想が必要
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	入学生オリエンテーション資料で説明 保護者会の実施などで周知している

5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	職能団体や実習先、就職先からの声を反映させて業界のニーズに合った教育を行っている。講師を招聘しての講座等を実施
課題：将来構想を話し合う環境づくりを行い、経営会議等において3か年計画・5年計画等を明確にし、さらに長期計画を設定する。 今後の対策：社会のニーズを的確に認識し、将来構想（中期計画・長期計画）を立案設定し、教職員全体で共有する。 特記事項：			

（2）学校運営

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	経営会議・委員会等を実施し策定
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	経営会議・委員会等を実施し、基本方針・年間事業計画を策定
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	学校組織図により示しているが、裁量権のボーダーを広く持つなど有効に機能するよう取り組みの改善をする
4	人事、給与等に関する規定等は整備されているか	3	経営会議の実施、就業規則の適正運用を見直し、人事考課の取り組みを検討する点がある
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	経営会議、教務委員会を実施している、さらに時間をかけて整備していく
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	各委員会の実施 組織内においてコンプライアンス管理（リスクマネジメント）が必要
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	ホームページで情報公開
8	情報のシステム化等による業務の効率化が図られているか	2	教務関係のシステム構築が必要
課題：学校組織図を基にした裁量権の検討、就業規則の見直し、組織内におけるコンプライアンス管理をおこなう。教務関係の情報システム化について研究を進め、効率化を図る。 今後の対策：人事考課の取り組みとコンプライアンス体制を整備する。教務関係のシステム化を構築し、効率化を進める。 学校運営について、管理面からの検討に加え、学生・教職員ニーズもより良く把握した検討を行う。 特記事項：前年度事業報告書等をホームページで公開した。			

（3）教育活動

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	養成指定施設としての基準により策定
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	養成指定施設としての基準により明確化
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	養成指定施設としての基準に準ずる
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	学校評価委員等からの最新情報を反映し、職能団体、業界などの協力を得て特別講座

			等を実施
5	関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	4	学科により選択コースの導入したカリキュラム変更を実施、実践力をつけるための工夫を行っている
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	福祉施設・病院・障害福祉サービス事業所等での実習を実施
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	FDの実施による評価
8	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	体制を整えるために学校関係者評価委員会を実施、意見聴取
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	学科で判定基準を設定し、進級・卒業判定会議を実施
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	全員の資格取得に向けて対策講座、個別・グループ指導も実施
11	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	養成指定施設としての基準に準ずる
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	業界からの派遣講師による授業を実施
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	加盟団体等の研修に積極的に参加した。
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	勉強会等の実施、研修会に参加、学内教職員研修会の実施
課題：職業教育に対する業界のニーズや外部関係者評価を取り入れ柔軟な教育活動をより一層推進することが必要である。 今後の対策：産学連携に繋がる教員の指導力育成など資質向上のための取組みを推進する。 特記事項：職業教育に対する外部関係者評価を取り入れる体制を整えるために、学校関係者評価委員会を実施している。			

（４）学修成果

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	就職率の向上が図られているか	4	全員就職を目標に、委員会や担任を中心に指導、学生の希望と現実とのギャップがある
2	資格取得率の向上が図られているか	4	対策授業・補習を実施
3	退学率の低減が図られているか	4	担任による定期的な個別面談指導を実施
4	卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	HP・SNS等で紹介・評価
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生からの意見等を有効に活用したフォローアップ、効果の確認が必要

課題：卒業生からの意見等を活用したフォローアップが在学生の教育活動に取り入れられているが、学習成果に表れているか検討が必要である。 今後の対策：退学率の低減を図るための担当委員会で検討、本人や保護者との連絡密にする 特記事項：教務委員会では、他学科と連携しながら、就職・資格取得、学生動向等について、お互いの向上に向けて取り組んでいる。

(5) 学生支援

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	各種就職セミナーの実施と求人情報等の提供
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	定期的個別面談や個別相談の適宜実施
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	各種奨学金制度の相談、学校独自の経済的支援制度や分納制度の実施
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	定期健康診断の実施と個別相談の体制を確保
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	学生行事やボランティアを紹介、活動への支援、
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	校舎施設設備の営繕、アパートの紹介
7	保護者と適切に連携しているか	3	個別相談・保護者会の実施
8	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生支援の強化を検討する
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	適宜対応
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	高校への出前講座の実施
課題：学生の学校内での生活環境（設備等の修繕関係）については、引き続き支障をきたさないよう早めの応が必要である。 今後の対策：設備等の定期点検を行っているが、さらに日々の点検をきめ細かに行う。 特記事項：			

(6) 教育環境

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	施設設備の維持のため、経年劣化によるものは取替により環境整備を実施
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	年間計画により学外実習を実施（精神保健福祉学科では、新型コロナの影響がまだ残り実習に影響あり） 新たな実習施設の確保
3	防災に対する体制は整備されているか	3	定期的な避難訓練と設備点検の実施
課題：引き続き設備の耐用年数を考慮した設備整備計画が必要である。 今後の対策：照明機器・空調設備リニューアル等の複数年度にわたる設備整備計画を検討する。地震や自然災害に備えた防災対策が必要である。 特記事項：			

(7) 学生の受入れ募集

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	定期的に広報委員会を実施、高校訪問・体験入学の実施、進学ガイダンスへの参加、広報媒体の効率的活用
2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	3	就職・資格取得状況を学校訪問、オープンキャンパス等で説明
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	他校等の学納金と比較検討
課題：広報費について、より費用対効果を吟味して、マーケットの情報を分析し学生募集活動に活かす必要がある。 今後の対策：実績のある教育成果がより伝わるようSNS等広報媒体の適宜検討し、学生数の充足率実績が上がるように対策を行う。 特記事項：独自の経済的支援制度(学費負担の軽減等)を取り入れている。			

(8) 財務

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	適正
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	月ごとに会計事務所からの計算書により収支の進捗状況を検査
3	財務状況について会計監査が適正に行われているか	4	監事による監査
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	ホームページで公開
課題： 今後の対策： 特記事項：より広く一般に公開するため、ホームページで財務情報を公開している			

(9) 法令等の遵守

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	養成施設指定の自己点検表等で点検 教室使用の適正な運用を検証
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	より一層のセキュリティ対策を実施
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	職員会議・教務委員会等で検証、改善
4	自己評価結果を公開しているか	4	ホームページで公開
課題：学生数の変動等による教室使用について、適正な運用・改善が課題となっている。 今後の対策：養成施設指定の自己点検表による自己点検の実施と課題の改善を行う。 特記事項：より広く一般に公開するため、ホームページで自己点検評価報告を公開している。			

(10) 社会貢献・地域貢献

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	学科によっては、学校施設を活用して社会人対象講座を実施
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	ボランティア活動保険にも加入し支援
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	学科によっては、教育訓練生を受託

課題：

今後の対策：校舎施設・設備を活用して、地域に根差した健康・福祉関連講座の実施を検討する。

特記事項：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止せざるを得なかった活動もあった。

(11) 国際交流

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	留学生を受入れが減少しているなかで、戦略がない状況
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	3	関係機関と連携し、諸手続きを実施
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	学生支援の日本語サポート特別授業や個別指導・相談を実施
4	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	2	検討中
課題：令和元年度から留学生の受け入れをしているが、留学生の入学が減っており、受入れに繋がる対策が必要である。 今後の対策：留学生を受け入れについて、関連団体と連携した具体的な戦略を推進する。 特記事項：			

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

業界団体、関係施設、卒業生等の学校関係者評価委員による学校関係者評価委員会を開催し、自己点検・評価結果について評価していただくとともに、適切な助言・支援をしていただき、教職員と共通理解を持ちながら、教育の向上・改善に努めた。

(詳細は、学校関係者評価報告書により公開)